



麻布幼稚園だより 9月号

平成26年9月1日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

「子どもと一緒に大人も育つ」

園長 大島 美知代

2学期が始まりました。どんな夏休みでしたか。いろいろな楽しい思い出ができたことでしょうか。

2学期も本園の教育活動、そして、PTA活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

私は高校野球が好きです。高校生がどんな思いをもって甲子園に来ているか、そして一勝をするために、一勝を積み重ねるために一人一人がどんなことを考えているか、などを想像し、試合を見えています。試合終了のサイレンが鳴り、勝った高校の校歌が流れます。笑顔あり、涙あり、の場面が映し出されると、私はジーンとしてしまいます。高校生が一生懸命に野球をする姿、チームのメンバーと目を見合わせ、合図する姿、打たれたピッチャーを元気付ける姿、必死で応援する姿、などの姿を見て感動しています。

高校野球の放送が始まる前に、野球部監督へのインタビュー番組を見ました。その番組である監督が言っていた言葉が頭に残りました。その監督のモットーは『その子の「良さ」を引き出すこと、そして一生懸命に取り組ませる』ということ、さらに『厳しくすると「監督の孤独」を感じますが、厳しさを忘れずに部員に対応します。なぜ厳しくするのか丁寧に説明し、理解させます』とっていました。

その監督の言葉は、教員にも保護者にも共通すると思いました。子どもは好きなことが見つかりとそれに向かって一生懸命になるものです。夢中でやりたいことに出会った子どもは自分たちの目標を決め、目標に到達するために一生懸命になっていきます。幼児期の『遊び』も同じです。子どもが一生懸命になって、目標に向かって何度も挑戦したり、工夫したりしていけるよう、その機会をつくり、子どもと出会わせ、子どもを見守り、応援していくのは、子どもを支える大人の役目です。

このように、私たち大人は、子どもと一緒に学んでいることが分かります。幼児期はこれからの長い人生を生きていくため、心も身体も鍛え、強くたくましく育っていくための基礎を育てる大切な時期です。この時期、どのように子どもと対応し、関わったらよいのか、考えることが大切です。時には教員として、母親として、父親として厳しく対応することも必要でしょう。時には「孤独」と感じる場面もあると思います。しかし、子どもの成長のためです。子どもたちはあと10数年経つと中学生、高校生です。先を見通して関わりましょう。子どもの遊びを一緒に面白がり、子どもの「良さ」を引き出し、必要な時には厳しく対応しましょう。子どもと共に大人も育つのです。大人自身の成長が子どもの成長につながるのです。